



### 生涯の勉強を考える

2月16日、市民会館で「公民館大会」が開かれ、市民活動に活躍される110名が「生涯の勉強」を熱心に考えました。学級・サークル・グループなど、実際の活動にたずさわる6人の人たちからは、それぞれの立場での意見発表を聞き、みんなで活動の原点を探りました。

（このうち、国からきた補助金はわずか二百五十万円です）

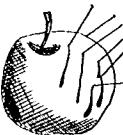
（このうち、国からきた補助金は五百六十万円です）

（このうち、国からきた補助金は五百六十万円です）

今日は次の相談所が開かれます。申込みは市民課であります。なお申込み多数の場合には、次の相談日に回ります。

### 法律相談

- とき：三月十一日（火）午前十時から午後三時まで
- 担当者：弁護士



### 超過負担現実 (5)

これまでのこの項には、市の行政財政のしくみや、国と地方公共団体との一般的な行政のかかわり合いを見てきました。今号は、もう少し地方政府の財政を圧迫している

「超過負担」の問題を掘り下げるみましょう。

昭和四十四年に仙台・酒田大宮市など十四市が国に対し超過負担の解消を求めました。これに対して政府は「地方財政法第十八条の規定の趣旨を十分尊重し、必要かつ十分な金額を基礎として算定し、実情に即応したものとすべきことは、地方公共団体の意見のとおりである」と超過負担の実態を認め、過去二回にわたり若干の解消措置を取り

金はわずか二百五十万円でした。このため同市は「本来二分の一補助で国の負担しなければならない残りの四千百二十万円余りを市がかぶつたので、これは『國の負担金・補助金の額は、地方公共団体が仕事をするために必要かつ十分な金額を基礎として算定しなければならない』と規定している地方財政法第十八条などの趣旨に反する」と訴訟費用三百万円の予算を市議会に提出しました。

これが「國の負担金・補助金の額は、地方公共団体が仕事をするために必要かつ十分な金額を基礎として算定しなければならない」と規定されています。

これは、地方財政法第十八条の四で明記されています。

この超過負担が多ければ多いほど本県地方公共団体が住民に対して自由にサービスで

# 自治体は泣いている

### 超過負担の問題と地方財政法

まことに、遂年のインフレで近年ますます超過負担は増高する実情にあります。このような状況の中で大阪府下の浜津市では、昭和四十八年八月、国を相手どつて「保育所建設に要した超過負担」について訴訟を起こし、全国に波紋を投げました。

このように教育や保育などは全国平均して統一的、画一的に行う必要のある事務です。それに国と地方の相互に利害がある事務ですから、両者が

が一定の行政水準を保つて、地方公共団体は負担の義務を負わない」ことが、地方財政法第十条の四で明記されています。

この超過負担が多ければ多いほど、本県地方公共団体が住民に対して自由にサービスできる公共事務（固有事務）が

規制されています。これは、地方公共団体が法令に基づいて実施しなければならない事務であって、国と地方公共団体相互に利害があります。

法が進んで経費を負担する必

要があるものについては……全部または一部を負担する」と規定されています。また同法第十九条では、「経費の種目、算定基準および国と地方公共団体とが負担すべき割合は、法律または政令で定めなければならない」とも規定しています。

これに該当するものとして、は△小・中学校、保育所建設費△生活保護費△予防接種費△国民健康保険事業費△農業委員会費などは△外人登録△国民年金計画△農地事務など「もつばらの利害に関係のある事務に要する経費について、地方公共団体は負担の義務を負わない」ことが、地方財政法第十条の四で明記されています。

お買物、ご用命は市内です

御婚礼着付・コールドパーク  
カバーマークの化粧品店

本店……渡辺美容室  
支店……栄美容室

新津市本町3丁目ウラ TEL 20626

果実・贈答品

八百勘

TEL (3)1361

駅前